

新年度がスタート！ ～楽しい学校づくりを～

令和3年度が始まりました。子ども達も教師も新たな気持ちの中、活気に満ちた学校生活をスタートしたと思います。

4月に限ったことではありませんが、学校生活を送る上で大切なことは、学校は子ども達にとって楽しいと感じられる場所になってほしいということです。勉強が楽しい、行事が楽しい、友達との活動や遊びが楽しいなど、子ども達が楽しく学び、安全な生活ができる環境であることです。もちろん先生方にとっても学校が楽しい、授業が面白いと感じられることが大切です。そんな場面がたくさん見られる一年間にしたいものです。

今年度から中学校の新学習指導要領が完全実施となりました。これまでの研修をもとに、さらに「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業づくりを進めるようお願いします。



新型コロナウイルス感染症対策や新しい生活様式による指導も要継続ですが、その中にもあっても創意工夫し、より効果的な教育活動を展開していくことが大切です。

義務教育学校稲田学園開校式！

4月6日（火）の午前9時30分から、須賀川市立義務教育学校稲田学園の開校式が行われました。式の中では、稲田小学校、中学校のそれぞれの校旗が返還された後、市長さんから校長先生に真新しい稲田学園の校旗が授与されました。児童生徒も厳粛な態度で式に臨み、新たな気持ちを胸に義務教育学校としての第一歩を踏み出し、校歌の一節にある「校舎に響く笑い声が 夢を紡いで明日を描く」そんな学校生活が始まりました。



◇◇◇学校教育アドバイザー訪問◇◇◇

（麻布教育研究所 村瀬先生・永島先生）

今年度も学校教育アドバイザーによる学校訪問を実施します。各学校への訪問は2回となります。校内研修や授業研究会等で講話や指導助言をいただくこ



とができますので、積極的に活用し研修を深められるようお願いいたします。訪問日程については、送付済みの訪問計画表でご確認ください。

適応指導「すこやか教室」から

不登校あるいはその傾向を持つ児童生徒を対象に、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善のための指導・相談を行い、学校復帰や社会的自立に向けての支援をしています。

適応指導にあたり効果的と考えられる児童生徒に対して、ぜひ「すこやか教室」への通級をお勧めください。

○開設場所 教育研修センター2階

## それぞれのよさを認め、個性を伸ばす教育を！



- 数年前までは「10年ひと昔」とよく言われましたが、今では「3年ひと昔」と感じられるようになり、社会の変化がかなりスピードアップしてきています。今の子ども達が大人になるころ、科学技術がさらに発達し、AIやロボットの開発が進んで、必要とされる職業や求められる人材が現在とは変わっているのではではないでしょうか？（もちろん変わらない職業もあると思いますが）単純作業はどんどんロボットに取って代われ、AIによって行われる仕事も大幅に増えていると推測できます。そんな社会で人間に求められるのは、柔軟な思考や学んだ知識・技能を組み合わせる新しいものを生み出す能力かもしれません。それぞれの分野でのスペシャリストであったり、時代に乗り遅れないようなスピード感をもって行動できたりするなど、一人一人が持つ個性や特性が、社会に必要とされる時代がやってくると言われています。
- 以下、平均点での評価はなく、それぞれのよさを認め個性や特性を伸ばす教育を考えさせる資料です。
- ※「動物学校」 教育学者 R・H・リーブス博士の寓話

昔々、動物たちは「新しい世界」のさまざまな問題を解決するために、何か勇敢なことをしなければならぬと考え、学校をつくりました。

学校では、かけっこ、木登り、水泳、飛行を教えることになりました。学校の運営を円滑にするために、どの動物も全部の科目を学ぶことになりました。

○アヒルは、水泳の成績は抜群で、先生よりも上手に泳げるくらいでした。飛ぶこともまずまずの成績でしたが、かけっこは苦手でした。水泳の授業中もかけっこの練習をさせられました。そうしているうちに水かきがすり減ってきて、水泳の成績が平均点まで下がってしまいました。学校では平均点なら問題ないので、アヒルの水泳の成績が落ちたことは、アヒル本人以外は、誰も気にかけませんでした。

○ウサギは、かけっこはクラスでトップでした。ところが水泳が苦手な居残りをさせられているうちに、すっかり神経がまいってしまいました。

○リスは木登りの成績が優秀だったのですが、飛行の授業で、木の上からではなく地上から飛べと先生に言われて、ストレスがたまってしまいました。練習のし過ぎでへトへトになり、肉離れを起こし、木登りの成績はCとなり、かけっこもDに落ちたのです。

○ワシは問題児で、厳しく指導しなければなりません。木登りの授業では、どの動物よりも早く上まで行けるのですが、決められた登り方ではなく、自分のやり方で登ってしまうのです。

○学年末には、泳ぎが得意で、かけっこ、木登り、飛行もそこそこという少々風変わりなウサギが一番高い平均点をとり、卒業生総代に選ばれました。

○学校側が穴掘りを授業に採用しなかったので、プレーリードッグたちは登校拒否になり、その親たちは税金を納めようとしませんでした。プレーリードッグの親は、子どもに穴掘りを教えてくれるようアナグマに頼み、その後、タヌキたちと一緒に私立学校を設立して、成功を収めました。

## 教育研修センターの積極的な活用を！

昨年度は、セミナー研修を開催できずに、各学校からの要請による研修を中心に進めてきました。そんな中、現職

教育に関わる研修やジャンプアップ研修、特別支援教育に関わる相談、養護教諭支援事業など、数多く訪問をさせていただきました。

今年度のジャンプアップ研修では、12校、30名の先生方からの研修希望がありました。さらに、校内研修等の際にも積極的にご活用ください。（連絡をいただければ、できるだけ各学校の希望に沿うよう対応します。）

